

## ◆団体基本情報

No.	7	種別	公益社団法人	団体名	公益社団法人仙台市シルバー人材センター		
所在地	〒 980 - 0013 仙台市青葉区花京院1-3-2 仙台市シルバーセンター6F						
電話番号	022-214-6262	FAX番号	022-214-6264	所管 部局	健康福祉局 高齢企画課		
団体ホームページ	https://www.sjc.ne.jp/sendaisc/						
代表者職氏名	理事長 白川 由利枝		設立年月日	昭和56年1月10日			
資本金・基本財産	0 千円	市の出捐額 (割合)	0 千円	( 0.0 %)			
設立 目的	定年退職者等の高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、提供することなどにより、その能力を活かした就業その他の多様な社会参加活動を援助して、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。						
事業 概要	会員登録している高齢者に対する臨時的かつ短期的な及び軽易な業務の就業機会の確保及び提供						
評価対象決算期	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日						

## ◆人員等の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	2 人
②常勤役員平均年齢	61.5 歳	63.5 歳	63.0 歳
③常勤役員平均年間報酬	4,539 千円	4,539 千円	3,720 千円
④職員数	16 人	16 人	16 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	1 人	1 人	1 人
⑤職員平均年齢	51.7 歳	52.7 歳	53.9 歳
⑥職員平均年間給与	4,677 千円	4,742 千円	4,670 千円

## ◆主要財務データ

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①当期経常増減額	9,344 千円	5,860 千円	10,037 千円
②当期経常外増減額	△ 5 千円	0 千円	0 千円
③当期一般正味財産増減額	9,339 千円	5,860 千円	10,037 千円
④一般正味財産期末残高	112,316 千円	118,177 千円	128,214 千円
⑤指定正味財産期末残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥正味財産期末残高	112,316 千円	118,177 千円	128,214 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

## ◆市の財政的関与

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①市からの補助金	67,749 千円	61,112 千円	63,744 千円
②市からの委託料 (指定管理料含む)	63,285 千円	57,426 千円	68,437 千円
③市に対する収入依存度	10.73 %	9.71 %	11.72 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和2年度事業費
高齢者に対する就業相談及び職業紹介事業	臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために、就業の機会を確保し、提供している。 (会員数：R3.3.31現在 2,695人)	1,100,445 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	働く意欲と能力のある高齢者が生涯現役で活躍し、生きがいを得るとともに地域の活性化に貢献できるようサポートするのがシルバー人材センターの使命。人口減少や少子高齢化の進展に伴い、労働力不足や地域課題の深刻化が大きな課題となる中、センターでは就業機会の提供やボランティア活動の支援等を通じて、高齢者の仲間づくり・健康づくり、地域課題の解決、そして労働力不足解消に貢献していくことをめざしている。今後も、高齢者がそれぞれの知識や経験や能力を生かして活躍し続けられるよう、会員の増強やセンターの機能強化に取り組んでいく。	働く意欲のある高齢者への就業機会の提供を通じて、本市の高齢者保健福祉計画の「高齢者が生涯活躍することのできる環境の整備」が図られている。今後も高齢者の多様なニーズに応じた就業機会の提供を進め、引き続き公益性の高い事業を実施されたい。
2. 業務・組織管理	公益法人として安定した事業運営を図るには、「会員の拡大」と「就業機会の拡大」が何より重要。このため、受託事業やシルバー派遣事業など多様な就業形態を広げるための積極的な取り組みにより自主財源の確保に努めるとともにできる限りの効率化を進め、適正な事業運営に努めた。シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」に基づき会員による運営参画を積極的に推進するとともに、理事会や各種委員会・部会の活性化を図りながら、将来を見据えた組織及び事務局体制の充実に取り組んでいる。	従来の請負・委任に加え、シルバー派遣事業を推進し、就業機会の拡大を図る等、事業運営基盤の強化が図られている。引き続き、多様な就業形態を提供するなど、適切な業務運営に取り組まされたい。
3. 財務状況	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受注件数や契約額が減少したことと併せて事業収益も減少した。しかし、政令指定都市との情報共有会議や参加型の職員研修、そしてセンター主催のイベントなど様々なものが中止になり、関係費用の支出が抑えられたこと及び費用削減に取り組んだことにより、財務状況は安定している。	コロナ禍の影響により、事業収益が減少となっているが、運営費用の削減等により、適切な運営となるよう努められている。引き続き、会員の確保や就業先開拓など財務状況の安定に取り組まされたい。
4. 今後の方向性及び課題	人口減少・少子高齢化のさらなる進展により、高齢者の就業や社会参加を通じて地域に貢献するシルバー人材センターの役割は、今後益々大きくなると予想される。このため、地域社会のニーズや高齢者の就労意向を分析・検証しながら、事業の拡大をめざしていく。引き続き、中・長期基本計画〔第二次改訂版〕に掲げる4つの重点項目①安全・適正就業の推進 ②会員の増強 ③就業の場の確保（就業機会の拡大） ④運営体制の充実・強化を中心に事業を推進し、地域社会の維持・発展と高齢者の生きがいづくりに大きな役割を果たしていきたい。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大が事業全体に大きく影響したことから、コロナ禍における事業推進体制を検討しながら、事業の拡大を図っていく。	少子高齢化が急速に進展し、地域や社会におけるさまざまな活動の担い手として高齢者の役割への期待が高まる中で、高齢者に就業機会を提供する当団体の事業は、高齢者の貴重な知識・経験や技能を地域社会へ還元するとともに、会員の社会参加や生きがいづくりにもつながり、今後ますます重要な役割を担っていくことになる。今後も、新型コロナウイルス感染症の影響や高齢者雇用安定法の改正等、高齢者を取り巻く社会状況の変化を踏まえながら、多種多様な就業機会や会員の確保などを進め、経営基盤の安定化に向けた取り組みをさらに推進されたい。